

第114回「村長とのふれあいトーク」当日のやりとりコメント

【1】 小学校のいじめにおける学校の対応について

先月のふれあいトーク終了後、村長の働きかけで教育委員会が学校に対して指導していただいたことで、学校側が別室学級を検討していただけることになり、村長に御礼を言いに来た。ただ、一つ懸念点があり、被害児童の学習機会を守るため、いじめ防止対策推進法に基づく加害児童への対応を学校に引き続き求めているが、学校の対応に違和感を感じ、教育委員会に相談したところ、教育委員会、校長と3者面談の場を設けていただき、校長先生に理解していただいたが、その後の学校側の対応が変わらず、面談の時と実際の現場での対応の違いに不信感を抱いている。また、担任の先生はクラスの状況を嘘なく教えてくださる素直な方だが、校長の圧力で事実を握りつぶされているのではと心配している。

⇒【村長コメント】

校長とは直接話していないが、面談の時に理解したと仰っても、実際の現場の中で対応が出来ていないのは、校長の判断がぶれている可能性がある。校長の人事は県であり村は勝手に出来ない。今後、今の校長が異動になることもあるかもしれないが、どこかでまた校長をやることになるため、教育委員会から指導するよう伝える。また、学校内には教頭もいるため、学校側は組織としてきちんと対応しなければならない。4月以降も見ていく。

【2】 特筆事項なし

【3】 - 1 思いやり道路について

思いやり道路について、交通量が多く、かつスピードを出す車が多いので、チラシ配りをする等、対策をしてほしい。看板を設置しても見る人が少ないのでチラシ配りのほうが効果が高いと考える。

⇒【村長コメント】

交通安全運動（チラシ配り）は、赤信号で車が停止している際に行うため、信号がない道路でのチラシ配りは難しい。また、警察の協力が必要となる。ハンプを立てて強制的にスピードを落とすことは可能だが、ハンプが多いと他の事故を誘発させることになる。村民には広報誌で啓発できるが、村外に向けては看板しかないと考えている。対応については今後検討していきたい。

【3】 - 2 東海駅前の駐車場について

駅前の送迎の車が多いので、1時間無料のコインパーキング作ってほしい。

⇒【村長コメント】

駅西には佐和方面にコインパーキングを設けているが、遠いため利用が少ないのが現状。駐車場の設置は土地の問題もあるため、設置は難しい。

【3】 - 3 医療費について

医療費の負担が大きいため対策してほしい。

⇒【村長コメント】

医療費は国が決めており、村が唯一決められるのは介護保険料であるため、そこについては据え置きを維持できているが、医療費については村として対策は難しい。

【3】－4 災害（地震など）に対するテレビの報道について

災害に対するテレビの報道が大げさで、不安を煽っているように感じる。また、大きい地震はそんなに来ることはないし、原発は安全対策をやりすぎていると思う。避難することはありえないと思うが、もし避難する場合はどこに宿泊することになるのか。

⇒【村長コメント】

これから大きな地震に繋がる可能性もあるし、伝えないことで批判されることもあるため、注意喚起の意味を込めて周知しているのだと思う。また、津波の情報は東日本大震災の経験を踏まえてすぐに伝えないといけない。

避難時の宿泊場所については、基本的に避難所になるが、長期に渡る場合、仮設住宅や借り上げアパートになると思う。また、コミセンや絆での避難所では段ボールベッドの使用や小さなテントをパーティション代わりにすることについても考えている。